

## AAOS 2023 に参加して

整形外科学教室 大学院3年 内田 明宏 (2015年入局)

2023年3月7日から11日にアメリカのラスベガスで開催されましたAmerican Academy of Orthopaedic Surgeons 2023 Annual Meeting (AAOS)に参加してきました。参加することができた経緯は、長谷川先生の演題 (Structural and Clinical Outcomes After Superior Capsule Reconstruction Using an at least 6-mm thick Fascia Lata Autograft Including the Intermuscular Septum: A Multi-institutional Study) がポスターで採択されましたが、長谷川先生がAAOSの開催時期に韓国肩肘学会のトラベリングフェローに参加する予定となったため、幸運にも代打でAAOSに参加させていただくこととなりました。

私にとってアメリカで開催される学会もAAOSも初めての参加で、色々不安を感じながらも学会初日、朝一番で参加登録を行い、自身のポスターが貼られていることを確認できて、ひとまず安心することができました。木下名誉教授からProgression Collapsing Foot Deformity (PCFD) について聴講し、感想を教えてほしいとご依頼いただいておりますので聴講してきました。普段は肩の勉強を主にしており、非常に新鮮でした。PCFDの病態分類について検討する内容で、PCFDが色々な病態から成り立つ疾患であることを改めて知ることができました。ポスター発表者は指定時間に自身のポスターの横に立つ様にAAOSから連絡があったため、指定時間に立っていましたが、残念ながら他のポスター発表者はほとんど立っておらず、そのため特に質問が飛んでくるような雰囲気ではありませんでした。ポスター横に立つ時間が終わり次第、足早にAmerican Shoulder and Elbow Surgeons (ASES) のspecialty dayに参加しました。腱板、人工関節、

脱臼とバランスのいい内容構成になっており、斬新な手術や研究などを聴くことができ、いい刺激になりました。ASESのspecialty dayにASESのトラベリングフェローで大阪医科薬科大学を訪問してくださったStephanie先生とLewis先生がおられたため、挨拶したところ、嬉しいことに私のことを覚えていただきおられました。勇気をもって挨拶した結果、その夜にステーキハウスに連れて行ってもらえることになりました。Stephanie先生とLewis先生からトラベリングフェローの感想を聞いたり、初めてお会いするアメリカの整形外科医の先生とアメリカや日本の話をしたり、東北大学の山本宣幸先生もおられたためお話することができ、非常に満足した1日になりました。(写真1、2、3)



写真1. Lewis先生と筆者、学会会場にて



写真2. ステーキハウスにて

## 国際学会に参加して



写真3. ラスベガスの街並み



写真5. シルクドソレイユ カー (ステージの撮影が禁止でしたので入り口です)

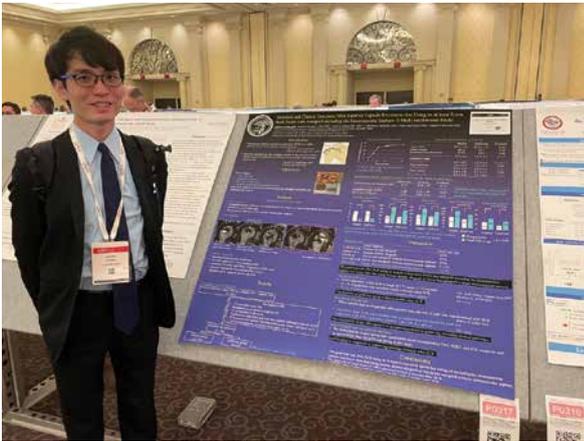


写真4. ポスター前で (東北大学川上純先生撮影)

学会2日目も同様に指示通りポスター前に立っておりましたが、残念ながら質問はありませんでした。結果的に発表に関して英語でディスカッションすることができず、せっかく学会に参加するのなら、ポスターではなく口演がいいなと改めて思いました。東北大学の川上純先生がポスター会場におられたため、お互いの研究についてディスカッションし、ポスター横で写真を撮っていただくことができました。(写真4)

夜はラスベガスで有名なシルクドソレイユのショーを見に行きました。ホテルに常設されているショーだけあってステージの仕掛けが壮大で、素晴らしいかったです。(写真5)

学会3、4日目はポスターも入れ替わり、自由に動けるようになったため、新たに貼られたポスターの内容を確認したり、聴講したりして楽しみました。印象に残っていることは企業の展示場が非常に豪華、巨大であること、ブースで医師がプレゼンしていることでした。医師が企業のインプラントを使用し、良好な術後経過をたどった自件例をプレゼンしているところを見ると、興味が湧いてしまい、インプラントを手に取り製品紹介を受けてしまいます。これはいい営業方法だなと思って聴講していました。日本の学会の展示場は比較的人が少ない印象がある中



写真6. ブース内で症例提示と討論が行われている様子

でAAOSでは非常に賑わっていました。(写真6)

4日目の夜は三幡先生にKerlan-Jobe Orthopaedic FoundationのReceptionに連れて行っていただき、美味しいお酒と食事をいただき、三幡先生のお知り合いの先生に会うことができました。

学会5日目の最終日はAmerican Orthopaedic Society for Sports MedicineとInternational Society of Arthroscopy, Knee Surgery and Orthopaedic Sports Medicineのspecialty dayに参加してきました。その日、日本人でただ1人三幡先生が壇上に立って発表しておられました。SCR術後の長期成績を報告されており、写真、動画を撮影する聴衆がたくさんいました。(写真7)

5日間開催されたAAOSが終了し、寂しさを感じながらも、有意義な時間を過ごすことができ、満足感を得られた状態で帰国することができました。整形外科の学会の中で一番規模が大きいと言われていた学会で色々な発表を聞くことができ、研究、論文作成や発表、また英語の練習ももっと頑張っていこ



写真7. 三幡先生の発表の様子

うと思うことができました。最後になりましたが、出張許可、援助をしていただきました大阪医科薬科大学整形外科学教室と、このような貴重な機会をいただきました指導医の三幡先生、長谷川先生に感謝いたします。今後は自身の研究でAAOSの壇上に立てるよう頑張りますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。